

平成 26 年 6 月 4 日現在

機関番号：13301

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22320140

研究課題名(和文) 独逸租借期青島旧蔵書籍上所見「書誌情報」の緊急採録と当該書籍に就ての総合的研究

研究課題名(英文) <Books from German Tsing-tao: Assets of the Great War in Japan>, its record and study

研究代表者

持井 康孝 (Mochii, Yasutaka)

金沢大学・歴史言語文化学系・教授

研究者番号：40107496

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,100,000円、(間接経費) 2,130,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、日本国内に分散現蔵されているドイツ租借期青島旧蔵書籍(約25機関；大約9,000冊)という歴史資料群の全貌把握とその存在の歴史的背景の解明を目的とし、官庁/軍関係諸部局宛寄贈書籍に就てはその概容/予備調査を完了し、学術機関に就てはその概容/予備調査を略々完了のうえ、本格調査の約1/3を完成させた。

又、そのうちの北海道帝国大学/東京帝国大学/松山高等学校宛寄贈書籍に就ては、その調査結果を『金沢大学歴史言語文化学系論集』誌上に順次報告した(2011.3.北海帝大；2012.3.東京帝大；2013.3./2014.3.松山高校)。

研究成果の概要(英文)： This extensive survey is an inventory of the some 9,000 printed volumes held in approximately 25 institutions in Japan, remnants of a grand array of the Imperial German libraries catering to colonial daily needs. We reconstruct a composite picture revealing these materials as first hand historic resources: Raw facets of colonial Germany buried here unnoticed. Preliminary inquiries and basic investigations of government institutions are completed, thorough survey of educational institutions finished to one third.

Complete record for Hokkaido and Tokyo Imperial Universities, and Matsuyama Senior High School was published. We took scrupulous care to record e.g. all owners' marks, trade signs, other traces. Bulk of the original assets perished in the World War II as collections of Japanese government departments. After the war many volumes were discarded and still are being taken off the shelves. For this reason we take an integral approach.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：青島

1. 研究開始当初の背景

独逸租借期青島旧蔵書籍は、1898年-1914年間にドイツの青島在設諸機関に於て収集/所蔵/活用され、第一次世界大戦の青島開城後に日本の青島守備軍に接收され(約 27,000冊)、全大戦の最末期に日本側の官庁/学術機関/軍関係諸部局等々宛て寄贈されたもので、その後の戦災/組織解体/移管等々を経て、今日その後継諸機関を中心に当初の約 1/3 の現蔵が確認されている。その最多現蔵機関は京都大学(約 2,000冊)で、其処では附属図書館と総/人図書館の両館内に各々「青島書籍」として一括配架されているが、例えば東京大学/北海道大学等々に於ては他の蔵書と混在した状態で配架される等々、その所蔵形態は異なる。

当該書籍に就き、青島守備軍はこれを膠州図書館蔵書籍、徳華高等学堂蔵書籍、及びその他の官有書籍に分別したが、ドイツ側所製欧文蔵書目録(1911年)所載の膠州図書館蔵書籍を除くと、他の書籍群に就ては、青島守備軍所製日語訳書名(油印本)に據ってその一端を推想するのみであった。

箇々の書冊上には、その青島到来前のものは素り、青島に於るドイツ側司書及び利用者、日本側青島守備軍、及びその寄贈を受けた日本側国内諸機関/現蔵機関の手を経ている間に貼付/押印/筆記/挿挟された納(製)本業者の商標、蔵書票(印)、整理票(印/録)、署名、献辞、或は閲覧時の筆録や戯画、及び栞替りの名刺/端書等々、その伝世の次第を具体的に辿るうえでの貴重な「書誌情報」が数多く遺されており、これ自体が歴史遺産である。

特に、青島に於て貼付されたドイツ側所蔵機関及び日本側青島守備軍による書籍整理票は、当該書籍が何処の所蔵機関に、如何なる状態で所蔵/利用され、或は如何に接收/

整理されたのかということをも具体的に辿るうえで必要不可欠な資料であるにも関わらず、背表紙上への貼付ゆえに、経年に因る劣化/破損/剥離の他、日本国内に於る所蔵機関での剥取、新票上貼、或は表紙改装等々により一部は既に失われ、特に独法化以降の国立大学に於ては電子登録に際して新票を旧票(印)上に不用意に重貼したり、甚しくは重複本を理由に廃棄(持井/古市/Scherrmann2008.)する等々、憂慮す可き事態が急速に進行していた。

かかる独逸租借期青島旧蔵書籍が日本/ドイツ/中国を含む世界の歴史学界に於て本格的にその調査/研究対象として取上げられたことは皆無と云っても過言ではない。僅かに日本に於て、その一部を保有する現蔵機関所属の独語/独文研究者による箇別的現蔵報告数篇と、例えば第一次世界大戦時のドイツ人捕虜問題を取上げる際に副次的にその存在が言及された場合を算入のみであった。

ここに於て、持井/古市の両名は、当該書籍群の全貌把握とその現蔵に就ての概容/予備調査を行なうべく、2005-07年度科研プロジェクトを実施し、その全貌把握に就ては、今次プロジェクトに於てもその協力を得たシエルマン氏(京大人文研外国人共同研究者)と共に、これを独逸租借期青島に於る書籍収蔵状況を含めた形態で公表し(持井/古市/Scherrmann 2007., # 2008., # 2009.), 国内外の識者から高い評価を得た。又、その概容/予備調査に就ては、研究成果報告書 Mochii 2009.を提出した。

2. 研究の目的

本研究は、現在日本国内に分散所蔵(約 25機関;大約 9,000冊)されている独逸租借期青島旧蔵書籍という歴史的資料群の全貌把握とその存在の歴史的背景に対する調査/解明

という構想の下に行なうもので、2005-07 年度科研プロジェクトに於る概容/予備調査の成果を踏まえて実施する。今次プロジェクトに於ては、 独逸租借期青島旧蔵書籍各冊上に貼押/記入された諸種の「書誌情報」の緊急採録/分析と、 その作業を通じて初めて視えて来る当該書籍の青島への将来事情、青島での整理/利用状況、日本の青島守備軍による接收/整理/処分状況、及びドイツの東亜に於る租借地経営(特にその文化/教育面)の実態並にその特徴に就て具体的に研究/解明のうえ、公表する。

3. 研究の方法

(1) 訪査時には、図書受入原簿等々関連書類の調査の他、箇々の書冊上に遺された諸痕蹟をカラーコピー機乃至スキャナーを使って採録する。

(2) 研究/調査時には、箇々の採録遺痕を判読して当該遺痕の組織/企業名/関連人物等々を確定したうえで、当該組織/企業/関連人物の詳細に就て調査しつつ、当該書冊の来歴、及び当該書籍群の形成/管理/処分状況、及びドイツの東亜に於る租借地経営(特にその文化/教育面)の実態並にその特徴に就て解明する。

4. 研究成果

(1) 今期4年間では、 東京帝国大学宛て寄贈分の受入原簿をはじめとする関連資料調査、及び寄贈書籍の約 $\frac{1}{2}$ に対する遺痕調査、 京都帝国大学宛て寄贈書籍の約 $\frac{2}{3}$ に対する遺痕調査、 松山高等学校宛て寄贈分の受入原簿をはじめとする関連資料調査、及び寄贈書籍に対する遺痕調査を完了すると共に、 松本高等学校宛て寄贈分に就ての関連資料調査、及び寄贈書籍の一部に対する遺痕調査を行なった。

(2) 前記4校に対する調査のうち、 東京帝国

大学宛て寄贈分、及び 松山高等学校宛て寄贈分に就ての調査結果を、後掲<5. 主な発表論文等>の如く公表した。

その際、東京帝国大学宛て寄贈書籍()は特定の分野を主とすること、松山高等学校宛て寄贈書籍()は爾余の高等学校分と略々同一分野に略々同数冊配布されたことを具体的に明示した。

その他、 第一高等学校宛て寄贈書籍のうちの既搜到書籍、 青島官報 1905 年 3 月 18 日号所載の青島家屋号一覧、 松山高等学校購入青島関連書籍等々に就ても、速報として付記した。

上記孰れの内容も、当該報告が初報であり、国内外の研究者から高い評価を得た。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 3 件)

持井康孝、古市大輔、Sylke U. Scherrmann、松山高等學校受入「獨逸租借期青島所蔵書籍」簡報(1)、金沢大学歴史言語文化学系論集、史学/考古学篇、査読無し、第 6 号、2014、43-102 頁。

持井康孝、古市大輔、Sylke U. Scherrmann、松山高等學校受入「獨逸租借期青島所蔵書籍」略報、金沢大学歴史言語文化学系論集、史学/考古学篇、査読無し、第 5 号、2013、1-162 頁。

持井康孝、古市大輔、Sylke U. Scherrmann、東京帝國大學附屬圖書館受入「獨逸租借期青島所蔵書籍」簡報、金沢大学歴史言語文化学系論集、史学/考古学篇、査読無し、第 4 号、2012、59-140 頁。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

持井 康孝(MOCHII, Yasutaka)

金沢大学・歴史言語文化学系・教授

研究者番号 40107496

(2)研究分担者

古市 大輔(FURUICHI, Daisuke)
金沢大学・歴史言語文化学系・教授
研究者番号 40293328

(3)連携研究者

三木 聡 (MIKI, Satoshi)
北海道大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号 90165986

佐竹 保子(SATAKE, Yasuko)
東北大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号 20170714

關尾 史郎(SEKIWO, Shirō)
新潟大学・人文社会/教育科学系・教授
研究者番号 70179331

石川 洋 (ISHIKAWA, Hiroshi)
東京大学・人文社会系研究科・講師
研究者番号 10262057

坂元 ひろ子(SAKAMOTO, Hiroko)
一橋大学・大学院社会科学研究科・教授
研究者番号 30205778

岩井 茂樹(IWAI, Shigeki)
京都大学・人文科学研究所・教授
研究者番号 40167276

村松 伸 (MURAMATSU, Shin)
総合地球環境学研究所・研究部・教授
研究者番号 70202356

古畑 徹 (FURUHATA, Tōru)
金沢大学・歴史言語文化学系・教授
研究者番号 80199439

安部 聡一郎(ABE, Sōichirō)
金沢大学・歴史言語文化学系・准教授
研究者番号 10345647